

3 農作業の省力化につながる簡易な基盤整備

すでに区画が整備されているほ場では、安価かつ迅速に簡易な基盤整備を実施して農作業の省力化を図ることが有効です。省力化につながる簡易な基盤整備の事例として畦畔除去、ターン農道等について紹介します。

(1) スマート農業機械の導入に対応した基盤整備の方法

農作業を省力化しよう	作業性の向上	①畦畔除去	農作業の効率を上げるため、畦畔を取り除いて、ほ場の区画を大きくします 【標準施工費：25千円/100m】	  
		②水路の蓋掛け (ターン農道)	農道を利用して農業機械が旋回できるよう、水路へ蓋掛けしてほ場へのスロープを設けます 【標準施工費：320千円/60m】	
		③耕区間等移動通路	農業機械が水路を横断し、容易に隣接する耕区等へ移動することを可能とします 【標準施工費：1,600千円/箇所】	
	水管理等の省力化	④用排水路パイプライン化	営農作業上の障害が除去できることや水路浚渫や除草の維持管理労力が軽減できます	
		⑤自動給水栓	大規模経営体の大きな労働負担となっている水管理労力が軽減できます 【標準製品価格】 53千円/箇所～165千円/箇所	

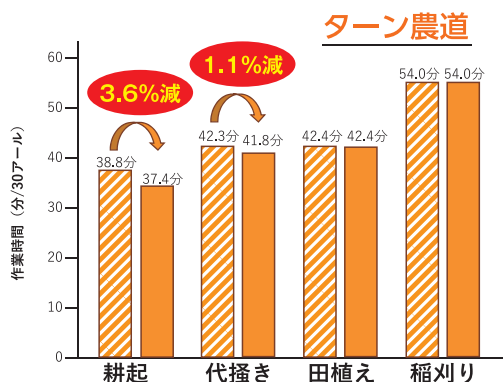
※活用できる事業
経営体育成基盤整備事業（ほ場整備）
農地耕作条件改善事業

(2) 省力化につながる簡易な基盤整備の実証（青森市奥内地区）

実証ほ場にターン農道と耕区間等移動通路を設置して、これらを活用した際の作業時間の短縮等を把握したものです。

ターン農道

耕区の外で農業機械が旋回できるように耕区短辺にスロープを設けることで、水田内での農業機械の旋回時の切り返しが不要になるため、農作業の効率化と枕地の練り返しによる排水不良の防止が期待できます。田植えと稲刈りは、時間短縮の効果はみられませんでした。耕起、代掻きでは作業がしやすいと好評でした。



耕区間等移動通路

自動走行農機等が道路を通行・横断することなく、畦畔や水路等を横断し容易に隣接する耕区等へ移動することで農作業の効率化が期待できます。作業時間の短縮は多くは望めませんが、使いやすいと好評でした。

